

平成 30 年 度

小学校教員資格認定試験
教職に関する科目 (Ⅱ)

生 活

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 30 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。

ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。

4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。

訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。

解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。

7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

[マーク例]

(よい例) ●

(悪い例) ○ × ⊕ ⊙

※ 以下の問いにおいて、『小学校学習指導要領解説』とは『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成20年8月文部科学省）を指すものとする。

問1 『小学校学習指導要領解説』の「第1章 総説 2 生活科改訂の趣旨 (2)改善の具体的事項 (ア)に記述されている次の文章中の ~ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

自分の特徴や に気付き、自らの成長についての認識を深めたり、気付きをもとに考えたりすることなどのように、児童の気付きを に高めるよう改善を図る。その際、例えば、見付ける、 などの多様な学習活動の充実に配慮する。

	A	B	C
ア	変化	質的	並べる, まとめる
イ	変化	総合的	比べる, たとえる
ウ	可能性	質的	比べる, たとえる
エ	可能性	総合的	並べる, まとめる

問2 『小学校学習指導要領解説』の「第1章 総説 3 生活科改訂の要点 (2)内容及び内容の取扱いの改善 ⑤幼児教育及び他教科との接続」に記述されている次の文中の ~ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼児教育との接続の観点から、幼児と触れ合うなどの交流活動や他教科等との関連を図る指導は引き続き重要であり、特に、学校生活への が図られるよう、 的な指導を行うことなどの工夫により第1学年入学当初のカリキュラムを カリキュラムとして改善することとした。

	A	B	C
ア	適応	合科	スタート
イ	適応	一体	アプローチ
ウ	順応	合科	アプローチ
エ	順応	一体	スタート

問 3 次の文章は『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第1節 教科目標 2 教科目標の趣旨 (3)自分自身や自分の生活について考えること」にある記述である。文章中の三つの下線部のうち、誤りのある記述はいくつあるか。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

自分自身や自分の生活について考えるということは、児童が身近な人々、社会及び自然と直接かかわる中で、自分自身や自分の生活について新たな気づきをすることである。児童が、自分自身についての理解を深め、自分のよさや可能性に気づき、心身ともに健康で望ましい自己を形成できるようにすることは、自立への基礎を養う上で大切である。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 誤りはない

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 生活科の目標 第1節 教科目標 2 教科目標の趣旨」には、「(5)自立への基礎を養うこと」とあるが、ここでいう自立の意味として記載されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分にとって興味・関心があり、価値があると感じられる学習活動を自ら進んで行うことができるということであり、自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できるという学習上の自立である。
- イ 生活上必要な習慣や技能を身に付けて、身近な人々、社会及び自然と適切にかかわることができるようになり、自らよりよい生活を創り出していくことができるという生活上の自立である。
- ウ 知識や技能を習得するだけでなく、習得した知識や技能を活用して、事象に対する気づきを積極的に得ようとすることができるという探究的な自立である。
- エ 自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもつことによって、現在及び将来における自分自身の在り方に夢や希望をもち、前向きに生活していくことができるという精神的な自立である。

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標 第 2 節 学年の目標 1 学年の目標の設定 (1)2 学年に共通する目標の設定」に記述されている次の文章中の A ~ C に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 2 に、生活科は児童の A を学習の対象や場にして、B を重視した学習活動を展開する。このような学習では、地域の生活環境の様子、生活様式や習慣などの違い、また、児童の C の違いなどが活動に影響してくる。学習活動を見定めたり学習の素材を選んだりにする際に、これらのことを基にすることが大切である。

	A	B	C
ア	生活圏	間接体験	興味・関心
イ	日常生活	間接体験	生活経験
ウ	日常生活	直接体験	興味・関心
エ	生活圏	直接体験	生活経験

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 1 節 内容構成の考え方 4 内容の構成要素と階層性 (2)内容の階層性」には、生活科の内容の階層性が説明されている。第 2 の階層「自らの生活を豊かにしていくために低学年の時期に体験させておきたい活動に関する内容」の学習対象・学習活動等に当てはまらないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かる。
- イ 公共物や公共施設を利用する。
- ウ 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。
- エ 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行う。

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (5)」に記述されている次の文章中の ~ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ここで取り上げる身近な自然とは、児童が かかわることのできる自然であるとともに、 の変化を実感するのにふさわしい自然である。例えば、川や土手、林や野原、海や山などが考えられる。また、そこで出会う生き物、草花、樹木などのほかに、水、氷、雨、雪、 なども対象となろう。

	A	B	C
ア	繰り返し	季節	砂, 石
イ	繰り返し	四季	風, 光
ウ	安全に	四季	砂, 石
エ	安全に	季節	風, 光

問 8 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (8)」に記述されている次の文章中の三つの下線部のうち、誤りのある記述はいくつあるか。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

人とのかかわりが緊密化している現在、よりよい人間関係を通して情報の交換をし、互いの交流を豊かにすることが求められている。特に生活科においては、身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことを大切にしている。これからの社会では、インターネット環境を活用した様々な方法によって情報を伝え合う活動を行うことにより、互いの関係を一層豊かにし、社会の一員としてだれとでも仲良く生活できるようになることが期待されている。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 誤りはない

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 1 節 生活科における指導計画と学習指導 1 指導計画の作成と特質」には、児童が自ら学び、自ら考え、主体的な学習ができるようにするための視点が示されている。それらの視点として記載されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 具体的な活動や体験が十分にできる時間的な視点
- イ 主体的な活動の広がりや深まりを可能にする空間的な視点
- ウ 学習の対象にじっくりと安心してかかわることのできる心理的な視点
- エ 学習内容の明確な順序性を可能にする系統的な視点

問10 次の表は、国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校 生活)』(平成 23 年 11 月)の「第 2 編 評価規準に盛り込むべき事項等 第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等 2 評価の観点及びその趣旨」に示されている生活科の特性に応じた評価の観点と趣旨をまとめたものである。表中の A ~ C に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

評価の観点	趣 旨
生活への関心・意欲・態度	A や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかわり、楽しく学習したり、生活したりしようとする。
活動や体験についての思考・表現	具体的な活動や体験について、自分なりに B して、それをすなおに表現している。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験によって、自分と身近な C とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

	A	B	C
ア	身近な環境	考えたり、工夫したり	人，社会，自然
イ	身近な環境	想起したり，整理したり	学校，家庭，地域
ウ	日常生活における出来事	考えたり，工夫したり	学校，家庭，地域
エ	日常生活における出来事	想起したり，整理したり	人，社会，自然

問11 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (5)季節の変化と生活」にかかわり、秋の七草(はぎ, おばな, くず, なでしこ, おみなえし, ふじばかま, ききょう)を取り上げる活動を考えた。秋の七草に関する説明として適切でないものを, 次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「はぎ」は草ではなく, 木に分類される。

イ 「おばな」はイネ科のススキのことである。

ウ 「くず」と「なでしこ」は, ともにマメ科の植物である。

エ 「おみなえし」は細い茎の上に小さな花が密集して咲く。

問12 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (4)公共物や公共施設の利用」にかかわる活動として, 児童が街中でいろいろな施設を調べた。聞こえが不自由なことを表し, 筆談を希望する場合に指し示すなどして使用するマークとして最も適切なものを, 次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア



イ



ウ



エ



問13 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (5)季節の変化と生活」にかかわり、年中行事について取り上げる活動を設定した。毎年、同じ期日に行う行事として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 人日の節句
- イ 春分
- ウ 十五夜
- エ 冬至

問14 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (6)自然や物を使った遊び」にかかわり、おもちゃを作る活動を設定した。おもちゃづくりに使う道具の使い方として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア カッターを使うときは、紙や定規を押さえて、自分の方に引きながら切る。
- イ はさみで紙を丸く切るときは、紙を固定してはさみを回しながら切る。
- ウ きりで穴を開けるときは、材料を固定して、きりを両手で回す。
- エ 道具を人に渡すときは、持つ方を向けて渡す。

問15 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (7)動植物の飼育・栽培」にかかわり、昆虫の特徴を知る上で、鳴き声を調べる活動を行った。童謡『虫の声』にも出てくる昆虫の名称と鳴き声の表現の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	マツムシ	クツワムシ	ウマオイ
ア	チンチロリン	ガチャガチャ	スイッチョン
イ	チンチロリン	リンリン	キリキリ
ウ	コロコロ	リンリン	スイッチョン
エ	コロコロ	ガチャガチャ	キリキリ

問16 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (7)動植物の飼育・栽培」にかかわり、学級で昆虫を飼育することにした。成長の過程が「卵→幼虫→蛹(さなぎ)→成虫」となるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア アブラゼミ
- イ ショウリョウバッタ
- ウ オオカマキリ
- エ カブトムシ

問17 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (4)公共物や公共施設の利用および(6)自然や物を使った遊び」にかかわり、工作の材料となるペットボトル、牛乳パック、紙などを集めた。リサイクルの観点から、教師が物に付いているマークの意味を把握しておくことは大切である。マークとその意味の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア	リサイクルできる缶である。	一度使った紙で作った物である。	一度使った紙で作った紙パックである。
イ	リサイクルを呼びかけている。	一度使った紙で作った物である。	リサイクルできる飲料用の紙パックである。
ウ	リサイクルできる缶である。	地球にやさしい商品である。	リサイクルできる飲料用の紙パックである。
エ	リサイクルを呼びかけている。	地球にやさしい商品である。	一度使った紙で作った紙パックである。

問18 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (6)自然や物を使った遊び」にかかわり、むらさき色のパンジーの花で色水を作り、そこに身近なものを加えて、色の変化を楽しむ活動を設定した。加えるものと色水の色の変化の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	酢, レモン汁	重そう, 石けん水
ア	茶, 灰	黄, オレンジ
イ	茶, 灰	青, みどり
ウ	ピンク, 赤	黄, オレンジ
エ	ピンク, 赤	青, みどり

問19 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (5)季節の変化と生活」にかかわり、野菜のどの部分をおもに食べているのかに児童が関心をもった。私たちが主に食べている部位と野菜の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	葉	地下の茎	根
ア	ブロッコリー	にんじん	さつまいも
イ	ネギ	さといも	じゃがいも
ウ	ほうれん草	じゃがいも	にんじん
エ	キャベツ	さつまいも	さといも

問20 『小学校学習指導要領解説』の「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (7)動植物の飼育・栽培」にかかわり、春に花を咲かせる活動をするようになった。春に花を咲かせるために、球根で育てる方法がある。一般的に球根で育てることが多い植物として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア スイートピー
- イ ネモフィラ
- ウ クロッカス
- エ ルピナス